

学力調査結果 【3年生】

(1)全体を通して

今年度は、国語科と数学科が「全国学力学習状況調査(文部科学省)」の結果、その他の教科については「練馬区立学校学力調査」の結果(平成28年4月実施)を掲載しています。

5教科とも、全国および都の平均正答率と同等か下回る結果でした。内容的に見ると、各教科の特性はあるものの、「思考・判断・表現」の観点については、全国と同様に正答率が低く課題であるという結果でした。

この結果から、昨年同様、授業の中で生徒が自ら「思考・判断」し「表現」する機会を増やすことが必要であると考えます。教師が一方的に進めるのではなく、1時間の中で生徒が自ら考える場を設定し、個々の生徒が自分の力で考え解決する機会や、課題解決の過程や考えを発表する機会を積極的に設ける必要があると考えています。

(2)教科別結果

3年		平均正答率			備 考	分 析
		本校	都	全国		
国 語		77.2	76.9	75.6		「書く能力」「言語についての知識・理解・技能」の結果については、朝授業などで言語の知識を積み重ね、書く習慣を付けた成果だと言える。ただし、「読む能力」の正答率が他の観点に比べて低かった。文章の展開に即して情報を整理して捉えたり、その情報に対して自分なりの考えをもつ等の力を付けていく必要がある。 また、B問題では文章の構成を捉えたり、資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書く設問の正答率が低いことが分かった。授業の中で資料などをよく読み要点をまとめたり意見を書いたりさせる
観点別 正答率	国語への関心・意欲・態度	56.4	60.6	58.3	B問題	
	話す・聞く能力	79.7	81.0	78.9		
	書く能力	81.2	75.4	73.7		
	読む能力	76.6	80.8	78.6		
	言語についての知識・理解・技能	75.6	74.5	73.9		

3年		平均正答率			備 考	分 析
		本校	区	全国		
社 会		49.5	50.8	55.2		観点別に見ると、「社会的な思考・判断・表現」については、地図や資料などを活用して考察し表現する力に課題がある。「知識・理解」については日本の地域構成や江戸時代の文化史などの知識が不十分である。授業中に時事問題などを取り上げて関心や意欲を高める必要がある。「思考力」等については、ワークシート等において、文章記述の問題や資料からの読み取りの問題を増やす必要がある。
観点別 正答率	社会的な事象への関心・意欲・態度	42.5	48.1	53.0		
	社会的な思考・判断・表現	44.6	48.3	51.2		
	資料活用の技能	47.9	50.2	54.0		
	社会的な事象についての知識・理解	51.5	52.3	57.0		

3年		平均正答率			備 考	分 析
		本校	都	全国		
数 学		62.3	63.5	62.2		今年度は全国よりも東京都の平均が高く、その平均値を下回る結果が多かった。基礎的な「知識・理解」や「技能」については身に付きつつあるが、「数学的な見方・考え方」については、ある条件から新たな事柄を見つけ出したり、必要な情報を選択し、数学的な表現で説明したりする力を付けていく必要がある。また内容別では図形の特徴や性質の理解が不十分であった。少人数指導を活用し個人差に応じて指導をしていく。
観点別 正答率	数学への関心・意欲・態度				設問なし B問題	
	数学的な見方や考え方	37.9	40.9	38.9		
	数学的な技能	66.9	68.4	66.9		
	数量や図形などについての知識・理	57.2	58.0	56.8		

3年		平均正答率			備 考	分 析
		本校	区	全国		
理 科		47.4	47.8	53.8		観点別では「関心・意欲・態度」「観察実験の技能」については都を上回ったが、「思考・判断・表現」については課題である。実験結果をまとめ考察する活動などを取り入れ向上を図る。内容では生物・物理単元では知識として身に付けなければならない内容が多く朝学習などで定着を図る必要がある。授業の導入で生徒の関心・意欲を高める工夫をして前向きに学習に取り組ませる。
観点別 正答率	自然事象への関心・意欲・態度	45.9	45.8	50.6		
	科学的な思考・表現	43.9	44.9	49.3		
	観察・実験の技能	40.8	38.7	46.6		
	自然事象についての知識・理解	51.4	51.4	58.0		

3年		平均正答率			備 考	分 析
		本校	区	全国		
英 語		64.4	66.0	61.8		観点別では、「表現の能力」が全国や都の結果と同様に低く、場面に応じて書く力や課題に沿って3文程度の英文を書く力が課題である。また「理解の能力」では文章の要点を押さえたり、必要な情報を取り出して相手に応じたりする力に課題が見られた。基本的な文法事項を定着させ、それを応用して表現に生かすような書く活動、長文を読んで要点を押さえて表現する活動などを行い、慣れさせる必要がある。
観点別 正答率	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	66.4	67.6	64.0		
	外国語表現の能力	43.8	50.2	45.5		
	外国語理解の能力	69.7	76.6	67.5		
	言語や文化についての知識・理解	66.5	68.1	60.5		

◆国語・数学は文部科学省「全国学力・学習状況調査結果」に基づく分析。

◆社会・理科・英語は「練馬区立中学校学力調査結果」に基づく分析。